

第二十一回句会 俳句

【高点句】

☆花は葉に墨田を過ぎる屋形船

〈一馬〉

☆風に乗り逆らひもして夏燕

〈眞澄〉

☆七七忌終へて螢に逢ひに行く

〈眞澄〉

【各自一句】

・夏燕左右の動きに猫合わせ

〈童心〉

・蔵元の軒を離るる燕の子

〈きさ〉

・切り口の角（かど）際立って冷やつこ

〈青蛙〉

・夏空の峰縁取りし青さかな

〈茂〉

・鷗飛ぶ校庭白きシャツの波

〈安津子〉

・朝もはよ泥を掬いて夏つばめ

〈莫院〉

・平和とは戦無きこと梅雨寒し

〈千恵〉

・梅雨晴間ナイスキャッチの声弾む

〈一馬〉

・少しだけこだはりて買ひ冷奴

〈眞澄〉

・母を待つ渋谷のビルの燕の子

〈撫子〉

・新茶汲む終のしづくの音のなく

〈明美〉

*以上、33句（3句ずつ11名）より、選句は13名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句（同点の句がある場合は、第三位の句迄）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に

偶然記載された順に掲載）